

師団偵察部隊合同訓練(オートバイ) 自身の持てる技術を発揮し、上位入賞!!

成績

Aランク

- 第1位 72TK 後藤3曹
- 第2位 7R 安藤2曹
- 第3位 7R 北岡2曹

Bランク

- 第1位 11i 嘉屋3曹
- 第2位 11i 伊瀬2曹
- 第3位 7R 宮城3曹



常に平常心 安藤二曹



攻めの走り 北岡二曹



愚直な男 宮城三曹



次回リベンジ 佐藤三曹

斥候小隊は、令和七年五月二十三日から二十九日までの間、第二偵察隊が担任実施した令和七年度偵察部隊合同訓練(オートバイ)に参加した。

当初、二十八日に練度判定が実施され、練度判定上位の隊員が二十九日のオートバイ競技会に参加をした。Aクラスでは北岡二曹及び安藤二曹、Bクラスでは宮城三曹、佐藤三曹の計四名の隊員が競技会に参加をした。

成績については、Aクラスで出走した安藤二曹が第二位、北岡二曹が第三位に入賞し、Bクラスでは宮城三曹が第三位に入賞を果たした。また、佐藤三曹は練度判定において、自身のもてる技術を発揮し奮闘したが一歩及ばず、悔し涙を呑む結果であったが、この悔しさを払拭すべく今後も積極的に練成を重ねて「次こそは上位入賞」を誓った。

本訓練において得た成果を踏まえ、練度の足りない部分を重点に練成し更なるオートバイ技術の練度向上を図る。

師団偵察部隊合同訓練(レーダ・センサの部)



レーダ哨を迅速に開設するレーダ班



少人員での開設のため連携は必要不可欠



放射機の方角角を設定する隊員



確実に動作確認をして万全を期す都築准尉



じ後を見越して迅速に行動する河内二曹



記録用紙を基に状況を精査する斉藤二曹

レーダ班

センサ班

電子偵察小隊は、令和七年七月二十五日から七月三十日までの間、第五偵察隊が担任実施した令和七年度師団偵察部隊合同訓練(レーダ・センサの部)に参加した。

二十八日、センサの部についてはセンサ埋設及び探知識別を二日間に分けて実施され、センサ班長都築准尉以下六名は滝のような汗をかきながら、迅速かつ確実に動作点検を行いながら送端機を埋設した。

翌日二十九日は島松山頂にセンサ哨を立ち上げ、センサ陸曹斉藤二曹は表示機からの記録用紙を確認してセンサ班長に報告。車両識別後速やかに上級部隊へ報告を実施していた。

三十日はレーダ班長菊池曹長以下四名がレーダの部に参加をした。当初、偵察前進しつつ島松山頂にレーダ哨を開設。レーダ班長の適切な指揮と班員の迅速な行動により監視態勢を確立させ、島松地区を南進する不明な車両を探知識別し上級部隊に報告していた。

今年度の競技会結果についてはレーダの部第二位、センサの部第三位という結果であったが、更なる識別能力向上のため今後の練成訓練により探知識別精度を高めていく。

第1次師団訓練検閲



システム構成実施中の隊員



第七偵察隊指揮所



CCV内でも情報を共有



敵情を転記する隊員

隊は、令和七年七月二十日から二十二日の間、第一次師団訓練検閲に参加をした。
 本訓練では隊本部機能を立ち上げ、主として隊の指揮幕僚活動の練度向上を図るとともに、実動部隊としては情報収集のため斥候小隊に直轄斥候組を配属し訓練に臨んだ。
 日中気温三十度を超える暑さの中、目まぐるしく変化する戦況に各所掌において状況判断をし、熱中症対策を講じつつ任務を遂行することが出来た。
 本訓練参加にあたり、問題点や改善を要する事項等を直ちに修正し、引き続き隊本部としての練度向上を図る。

三十度を超える暑さとも戦いながらのCP活動

令和7年度師団偵察部隊合同訓練(水路潜入)



転覆からの復旧訓練の様子



偵察用ボートの体験操縦



夜間の行動を明るい内に確認



オートバイを積載する分隊員

隊は、令和七年七月二十二日から二十四日の間、第十一偵察隊が担任実施する偵察部隊合同訓練に参加した。今年度については小銃分隊員の若年隊員を主体に訓練に参加した。
 当初、訓練準備として偵察用ボートの組み上げ及び運搬要領を演練したのち、オートバイの積載要領を演練した。じ後は夜間潜入実施のため段階的に訓練を進めて夜間潜入の準備を完成させた。
 水路潜入は全ての偵察隊員において必須のため、隊としても練成訓練を計画し練度の底上げを図る。

富良野かなやま湖に方面隊内偵察隊集結

令和7年度AC-TESC

第2戦闘偵察小隊 vs 第3戦闘偵察小隊

隊は令和七年六月三日から四日までの一夜二日、AC-TESCの場において第二戦闘偵察小隊及び第三戦闘偵察小隊訓練検閲を実施した。AC-TESCで小隊規模での参加は初めてであり、戦闘偵察小隊同士の訓練評価も初めてであった。

各戦闘偵察小隊の検閲課題である「偵察目標への前進中の先導戦闘偵察小隊の行動」として、第二戦闘偵察小隊長の米陀曹長及び第三戦闘偵察小隊長の松田一尉は、任務分析及び状況の特質を踏まえ情報見積りを実施して作戦計画を詳細に考察し、検閲を受閲した。

AC-TESC前日、小隊ごとに集結地へ向け行進を開始。先行班は小隊主力を円滑に誘導し、集結地を占領。翌日の戦闘に備えた。

各戦闘偵察小隊は、七月四日0六三〇緑野に集結、人員、車両及び弾薬等を準備し0八〇〇状況開始。「偵察のための前進」を開始した。

この際、各戦闘偵察小隊長は行動開始に先立ち斥候分隊を派遣し敵の前進状況を情報収集。斥候分隊と先頭戦車の情報により小隊の前進経路を決定し、主検閲課目である「偵察目標へ前進中の先導偵察小隊の行動」として一例となる行動をすることが出来た。

今後は本訓練で得た教訓を活かし、総合戦闘力を発揮した強行突破等、第七偵察隊の戦闘偵察小隊として更なる練度向上を図る。

第二戦闘偵察小隊

隊長に二小隊の構想を報告する米陀小隊長



偵察目標へ前進中の二小隊戦車



前進経路上を偵察している分隊員



「小隊検閲を受閲して」
第二戦闘偵察小隊長
米陀 欣人

令和七年六月四日に実施されたAC-TESCの場で令和七年度小隊検閲を受閲しました。

小隊検閲受閲にあたって各種資材及び車両等の準備を概成させるのは勿論のこと、特に注力したのは、戦闘指導でした。TESCにおいては、小隊の各隊員の行動の一つ一つが戦闘の成否に結び付くため陸士隊員まで小隊の行動を理解させるべく戦闘指導に注力しました。

いざ状況が始まると戦闘指導で細部まで指導した成果が表れた事、経験豊富な各分隊長が小隊長の企図を良く理解して率先的に行動してくれた事も、与えられた任務を完遂する事ができました。これは、小隊一丸となつて任務に邁進した成果と感じております。

小隊検閲は終了しましたが、本年度もまだ半ば、引き続き小隊の練度を向上させるべく計画的かつ効果的な訓練実施に着意して更なる精強第二戦闘偵察小隊を目指して行きたいと思えます。

第三戦闘偵察小隊

小隊命令下達を実施中の小隊長松田一尉



林内で警戒中の戦車



集結地進入直後のAPC



「小隊検閲を受閲して」
第三戦闘偵察小隊長
一等陸尉 松田 洋和

令和七年六月三日から四日の一夜二日にわたり、AC-TESCの場を小隊訓練検閲として受閲しました。

隊の先導小隊の任務を付与された「偵察のための前進」を主検閲課目として受閲しました。

先導小隊として、前方の斥候小隊と連携して、斥候小隊の情報を基に状況判断をして、隊主力の前進を遅滞させることなく前進させるという難しい任務の中、小隊一丸となつて任務を完遂できたことは大変良かったと思えます。

また、訓練間において小隊としての新たな課題も見えた検閲でもありました。今回の受閲の成果を踏まえて、是正できる事項は速やかに是正をし、引き続き隊長の御指導の下、小隊の精強化を図っていく所存です。



照準眼鏡を使用した射撃を実施して
測合修正要領を修得

隊は、令和七年六月十一日島松地区第二戦車射場において、五・五六ミリ機関銃MINIM I射撃を実施した。
小銃分隊戦術射撃に向けて小銃分隊機関銃手の射撃練度向上を目的としており、特に照準眼鏡を使用した射弾の観測修正及び目標変換後の測合修正要領を訓練した。
各機関銃手は実弾射撃でしか確認する事が出来ない自己の堅確な姿勢の確立及び射弾の観測修正並びに目標変換後の弾着の導き要領を掌握することができた。
じ後も引き続き射撃予習及び実弾射撃を実施して、射撃練度の向上を図る。



堅固な射撃姿勢をとって射撃する荒井士長



射撃準備の様子
確実な薬室点検の実施



目標手前から弾着の導きを行っている



照準眼鏡を使用した射撃を実施

弾着誘導に四苦八苦するも練成
二回目でしたっけ修正

隊は、令和七年六月十一日島松地区第二戦車射場において、七三APC前方銃射撃を実施した。
七三APCについては小銃分隊の他に迫撃砲分隊にも装備されており、迫撃砲分隊にとっては久々の前方銃射撃となった。
今射撃においては躍進射撃及び後退行進射撃を実施したが、弾着誘導が非常に難しく射手については非常に苦労してはいたが、練成二回目では一回目を考慮してうまく弾着誘導を行っていた。



車上からの状況



射撃係幹部嶋田1曹



任務呼称する迫撃砲分隊



小銃分隊長楠3曹

HMG射撃を各分隊の若年隊員に経験させて練度の
底上げを実施

隊は令和七年六月十七日、島松地区第二戦車射場においてHMG射撃訓練を実施した。
本射撃訓練は各分隊の若年隊員を対象にHMG射撃における訓練準備から、基本的な射撃要領等の修得を目的として実施したが、事前の空包射撃訓練の介あつて淡々と射撃訓練は進み、各分隊の射撃練度の向上に繋がる射撃訓練となった。
引き続き基盤を確保しつつ継続的な練成射撃訓練を実施して隊の練度向上を図る。



射手への指導を実施



90戦車からの射撃



観測記録係



APCからの射撃



HMG銃架からの射撃



CCVからの射撃

第7師団創隊70周年 東千歳駐屯地創立71周年記念行事



第7師団長 武田陸将

五月二十五日、第七師団創隊七十周年東千歳駐屯地創立七十一周年記念行事に参加をした。今年度は雨天のため記念行事は中止されたが、その間陰気な雰囲気も吹き飛ばすか、進めようという観望を誇り師団の威容を駆けし、また観覧進行も、訓練展示で、乗員が悪路も、斥候小隊の立派な水たまりをすらすらと走り抜ける姿に、威厳を披露した。

第七師団の先駆けとして走り抜ける第七偵察隊



巡閲の様子



立射ちを披露する乗員



横一線で通過する戦車



師団長前を通過する隊長戦車



師団の先頭を行く第七偵察隊

第7師団長初度視察



令和7年6月16日
武田師団長初度視察記念

第七師団長 武田陸将、三度第七偵察隊へ
隊は令和七年六月十六日、第七師団長の初度視察を受けた。当初、幹部挨拶を行い次いで状況報告を実施。その後師団長巡視が始まり勤務隊舎各事務室及び小隊待機室を視察していただいた。続いて各施設倉庫を見ていただいたのち、僅かながら休憩をして師団長視察は終了した。後段は場所を移して、師団長訓示が実施された。訓示において師団長は時折、第二戦闘偵察小隊長時代を冗談交じりで話され場内は笑いに包まれていた。



師団長訓示



予定外の視察に戸惑う小隊



幹部挨拶



訓示を受ける隊員一同



即動態勢を確認



状況報告

81mm迫撃砲射撃 然別演習場



砲器材を撤収し、陣地変換する分隊



射撃分隊の様子



弾着の判定修正を行うFO



射撃諸元を計算するFDC

隊は令和七年七月一日然別演習場において、八十一ミリ迫撃砲射撃訓練を実施した。集成迫撃砲小隊として射撃分隊、F O、FDCの三者連携による正確かつ迅速な射撃練度の向上を図り、隊の戦闘射撃において戦車や小銃分隊を前線に推進させる際の火力発揮ができるよ

う練度を積み上げている。また、分隊内の人員も新たな編成による実弾射撃となった。隊は、引き続き総合火力の発揮ができるよう練度向上を図る。

戦闘射撃における集成迫撃砲小隊としての性格迅速な射撃要領を演練

履修前教育訓練



木々を利用して防



前進指揮する隊員



7 偵初の女性候補生



身を低くして前進



身を隠しつつ前進



陣前までほふく前進

令和七年五月、第十一普通科連隊が担任実施する履修前教育に六名の隊員が参加した。学生達は同期と共に汗を流し、熱心に教育に臨んでいた。また、今期には7偵に女性自衛官が配置されて初めての女性陸曹候補生が教育に参加している。今後の後輩陸士の手本となる陸曹になるよう期待をする。

陸教入校に向けて、
氣勢充実

令和7年度上級偵察特技練成・検定



展示説明する藤田2曹



偵察行動の様子



展示説明する倉本2曹



仮敵扮する藤原2曹

隊は令和七年六月二十六日から同年七月四日までの間、令和七年度上級偵察特技練成・検定を担任実施した。隊からは五名、第十一普通科連隊からは四名の隊員が参加をし、斥候陸曹として必要な知識及び技能を修得することを目的として、教育は実施された。当初は学科により必要な知識を学び、教育中盤は演習場等野外での術科訓練、後段は指導法と偵察行動の実演指揮を演習場で実施した。最後に学科試験を受験して見事に全員合格し、特技取得することができた。

課題に追われる日々を
乗り越え、特技を取得

全日本青年銃剣道大会 聖地 日本武道館で七偵剣士奮闘

令和七年八月七日、日本武道館で実施された令和七年度全日本青年銃剣道大会に、隊から大島准尉以下九名が参加をした。

青年一部では先鋒片桐士長、次鋒小林士長、大将遠藤士長の二名が試合に臨み、一回戦二一で第二十二即応機動連隊を下し、続く二回戦は第三十五普通科連隊と対戦し一一二で惜しくも敗れた。青年二部には先鋒中原士長、次鋒鈴木士長、大将寺戸士長の三名が、一回線第三〇一ダンブ車両中隊に二一一で勝利したが、二回戦普通科教導連隊に〇一三と惨敗を期してしまった。

今大会では入賞することは出来なかったが、七偵銃剣道訓練隊はこれからも継続的な訓練を実施して、勝利を追求していく。

また、監督である大島准尉はこれまで第七偵察隊の銃剣道を選手時代から支えてきたが、自身の定年を目前に控え、自衛官としては最後の日本武道館となった。

長年にわたり、七偵銃剣道の伝統継承と銃剣道に対する熱い御指導で訓練隊を牽引して頂き、ありがとうございます。

日本武道館前で大島准尉最後の雄姿



七偵銃剣道訓練隊紹介

監督 大島准尉

指導部 宮戸三曹、信原三曹

青年一部 片桐士長

青年二部 小林士長

次鋒 鈴木士長

大将 遠藤士長

寺戸士長

試合直前に気持ちを
入れる剣士たち



コートに整列する
七偵剣士



近年の近接戦闘に対応する戦術格闘訓練を演練

隊は、格闘指導官特技保有者による練成計画により、年度を通じて格闘練成訓練を実施している。格闘訓練については近年の諸外国においての近接戦闘で生じた教訓等に基づき練成内容が目まぐるしく変化しており、起こりえる様々な状況に対する対処要領を演練している。訓練は基礎的な技術を段階的に演練したのち、一連の状況下において個人対応から班分隊規模での対処要領を練成している。隊は、近接戦闘における様々な状況に対応できるように引き続き演練し近接戦闘能力の向上を図る。



基礎訓練実施中の女性隊員



不意急襲的な状況にも対応



何度も反復演練



不審者を拘束中の隊員

第一線救護で仲間を初期段階で応急救護

隊は年度を通じて、本部付隊衛生班による救急法検定を実施している。救急法については各隊員が現場における負傷者への第一線救護が実施出来なければならぬ重要な課題である。自身若しくは他の隊員に対して初期段階での救護処置が実施出来るよう引き続き練度向上を図る。



救急包帯の使用方法を説明する西郷2曹



負傷部位への処置要領を展示する衛生班



負傷者を担架搬送している様子



示された負傷部位を救急包帯で処置



負傷者に対して応急救護を実施する隊員



担架搬送した負傷者をアンビに積載中



子供たちはかき氷大好き



付配置の末吉曹長もご家族で参加



水分補給には麦茶が一番



今年も家族総出でのご参加ありがとうございます。

「令和七年度東千歳駐屯地夏祭り」総務による炭火焼き鳥は終始大盛況

隊は令和七年八月五日、東千歳駐屯地で実施された令和七年度東千歳駐屯地夏祭りに参加した。今年度は隊員と隊員家族が祭りを楽しめるよう催し物は各部隊計画で実施をして、駐屯地多目的広場では機甲太鼓及びキッチンカー等の出店により祭りを盛り上がり、隊においては総務による炭火焼き鳥を提供し、特に小さいお子様には水ヨーヨー釣りやかき氷を提供する等、終始催し物は大盛況だった。また、祭り終盤には恒例の打ち上げ花火が打ち上げられ、お祭り参加者は歓喜の声を上げていた。

広報活動

隊は、令和七年度の札幌地方協力本部が実施する採用広報を支援して、自衛隊に対する理解の促進及び魅力等をアピールするため通年で支援を実施している。

採用広報支援については主に総務の人員及び各小隊一から二名の支援人員で実施しており、RCVやオートバイの装備品展示及び七偵の訓練風景を写真で展示する等、自衛隊を積極的にアピールして隊員自主募集に貢献している。

この支援活動により令和七年度、第七偵察隊から一〇六名の自主募集情報収集の成果をあげた。

また、令和七年の新卒入隊者に、昨年の広報支援活動により自衛隊に入隊し、七偵に配属を希望した新隊員が配属することが確認されており、広報支援の成果は確実に表れている。

今後第七偵察隊は広報活動を実施していく。

採用広報を支援して自衛隊及び第七偵察隊の魅力のアピール



興味を示された方々に丁寧に対応



猛烈アピールで興味を誘う総務幹部



自衛隊の魅力伝える先任と総務幹部



小隊からも支援を受けて広報活動を実施



展示車両について説明する隊員



営内生活について説明する女性隊員



左より遠藤1曹、都築准尉、稲垣様、吉田1曹



第七偵察隊長より「瑞宝単光章」を授与される稲垣様

叙勲伝達式

隊は令和七年六月二十五日、元准陸尉稲垣正進様が長年の防衛功勞により天皇陛下から「瑞宝単光章」を授与され、内閣総理大臣に代わり叙勲伝達式を行いました。

伝達式終了後、当時一緒に勤務を共にしていた電子偵察小隊のメンバーと記念写真を撮るなど、懐かしい話を花を咲かせていました。



前期定期異動者五名 (左より森本准尉、坂口1曹、岩寺1曹、山下1曹、高木3曹)

【令和七年度前期定期異動】
隊から五名の陸曹を送り出し、
二名の幹部が新たに着任



第七偵察隊歌で転属者を
送り出す倉本二曹



転属者に対し感謝と激励
の言葉を贈る加賀谷一佐



違和感なしの岡崎准尉



やや緊張気味の菊池二尉

隊は令和七年七月二十五日、令和七年度前期定期異動者五名に対して転出行事を実施した。勤務の長短はあるが各小隊班の核心となる陸曹を見送る事となり、惜しみつつも賑やかに第七偵察隊歌で送りを行った。また翌月の令和七年八月四日には二名の幹部がこの度の異動により転入した。菊池二尉は第七十三戦車連隊から電子偵察小隊小隊長へ、岡崎准尉は自衛隊札幌病院から電子偵察小隊センサ班長にそれぞれ配置となった。新たに偵友を迎え、引き続き第七偵察隊は任務完遂に邁進する。

☆本人・ご家族 割引あり! お問い合わせ・お申込み

☆大型特殊通常料金 (限定解除含む) 特別割引あり!

北海道公安委員会指定

全ふじやグループ

千歳自動車学校
066-0045
千歳市真々地2丁目5-2号
TEL0123-23-3213
FAX 23-3535
<http://chitose-ds.co.jp/>
担当: 玉腰・戸塚

王子ゴルフガーデン苫小牧
OJI GOLF GARDEN TOMAKOMAI
苫小牧市柳町2丁目5番10号 (苫小牧イオン隣り)
TEL: 0144-55-5454 FAX: 0144-55-9288

期間	営業時間
4月~10月	8:00~22:00
3月~11月	8:00~21:00
12月~2月	9:00~21:00
早朝営業 (4月~11月)	6:00~8:00

毎月「王子の日」等各種イベント開催中! 詳しくは、お問合せ下さい。
マネージャー 依藤 友彦 / スタッフ 永濱 光祐(74800)

王子不動産株式会社
北海道支店

防衛省 職 員 団 体 傷 害 保 険
家 族
<総合賠償型・親介護補償型(特約)オプション>
<団体長期障害所得補償保険「長期所得安心くん」略称: GLTD>

防衛省 退 職 後 団 体 傷 害 保 険

防衛省 共 済 組 合 団 体 取 扱 が ん 保 険

<お見積・資料請求 <http://webby.afiac.co.jp/boueii/>>

防衛省 共 済 組 合 団 体 取 扱 火 災 保 険

☆ その他各種の損害保険
【取扱代理店】 **弘済企業株式会社**
詳しくは、下記の東千歳駐屯地保険常駐員にご相談ください。
東千歳駐屯地東厚生センター (内線4766)
渡辺・奥山・高橋・清水まで

株式会社マリアージュインベルコ千歳支社

ベルクラシックリアン平安閣

御婚礼・成人式着物・各種ご宴会・御法要等承っております

千歳市錦町4丁目9番地 TEL 0123-26-1163 (担当: 関)

THE BELLCLASSIC Lien HEIANKAKU

ジブラルタ生命は、
お客さま一人ひとりを大切に
心に届くサービスを
ご提供いたします



ジブラルタ生命保険株式会社
札幌東支社 千歳第一営業所
〒066-0009 北海道千歳市柏台南1-3-1
千歳アルカディア・プラザ 3F TEL:0123-22-6813

明治安田生命



苫小牧支社
千歳営業所
岸田 玲美奈



明治安田生命保険相互会社
〒066-0064 千歳市錦町2-10-2
TEL:0123-23-2313 会社携帯:080-8603-6971
FAX:0123-23-1952
会社E-mail:remina.gotouda0211@ad.meijiyasuda.co.jp
損害保険もお取り扱いいたします



日本生命保険相互会社



栗野 由美子

札幌支社 千歳中央営業部
〒066-0062
千歳市千代田町6-2-3
日本生命千歳駅前ビル2階
TEL:0123-23-9166
携帯:070-2475-4900



↑ご連絡はこちらから

七偵察担当として皆様のお役に立てるよう頑張ります！
001-20-287

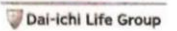
第一生命保険株式会社

札幌総合支社 札幌コンサルティング営業室 千歳第一オフィス

ふくだ まお
福田 舞桜

〒066-0062
千歳市千代田町4-14 千歳第一ビルディング5F
TEL:050-3782-0304 FAX:0123-23-1928
※お問い合わせの際は「050」からおかけ下さい
携帯:070-7364-7597
URL:https://www.dai-ichi-life.co.jp/

一生のパートナー
第一生命



安心の先にある幸せへ。
ご加入の生命保険に関する照会は
コンタクトセンター ☎0120-157157
でも承っております

LINE WORKS



お手持のスマートフォンから
LINEで問い合わせが可能です
再生録使用



※担当 左) 中島 綾乃 右) 中村 美樹



© 2025 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO. L654635

保険のご相談は私たちにお任せください

富国生命保険相互会社 札幌支社 恵庭第一営業所
〒061-1424 恵庭市大町3丁目2-4 ☎0123-33-9410
「ハローキティ」は、フコク生命のイメージキャラクターです。 ©E-003-0165 (2025.4.1)



BESTパートナー 大樹生命

日本生命グループ

苫小牧支社
千歳恵庭営業部

組織長
西谷 幸子



大樹生命保険株式会社
(三井住友海上火災保険株式会社 代理店)

〒066-0077 千歳市上長都1117-2 北海道パナホームビル3階
電話:0123-23-3258 FAX:0123-22-4685
E-mail:sachiko_nishiya@taiju-life.co.jp

毎日のことから 栄養・バランス をご提案します。
フレッシュランチ39
札幌店



TEL 011-871-7900
FAX 011-871-7901



じゅんかんコンビニ24

じゅんかんコンビニ24は、不用になった資源物を回収する無人施設です。
ご不用になった資源物を持ち込んでいただくことで
資源物の種類と重量に応じて「リサイクル貢献度」が貯まり
アンケートに回答いただくことで商品券がもらえちゃう便利でお得なサービスです。



回収品目	古紙	金属製品	アルミ缶	ペットボトル
	小型家電	パソコン	携帯電話	古布・繊維類

■ 千歳北陽店 千歳市北陽5丁目1-1
■ 千歳みどり台店 千歳市みどり台北4丁目2-8
■ 恵庭店 恵庭市黄金南5丁目9-15
詳しい回収品目やご利用方法については Webをご覧ください。
じゅんかんコンビニ24 検索

機関紙のデジタル化にともなう重要なお知らせ

いつもお世話になっております。誠に勝手ではございますが、本9月号をもちまして紙媒体での機関紙を廃止して、スマートフォン及びパソコンからインターネットで閲覧していただくことと致しました。

つきましては下記に記載した閲覧方法（一例）を一読していただき、それぞれの端末で「第7師団ホームページ」からの閲覧をお願いします。

これからも第7偵察隊の活動や隊員の活躍を掲載していきますので、今後とも「ななてい」を宜しくお願い致します。

スマートフォンでの閲覧方法（一例）

1、Google 等で「第7師団ホームページ」と入力し検索する

2、トップ画面に入ったらスクロールする

3、スクロールしていくとこの画面

4、編成が出るので更に下へスクロール

5へ続く

5、「第7偵察隊」をタップする

6、機関紙「ななてい」をタップする

7、機関紙が各号ごとに掲載されているので読みたい号をタップ

8、スクロールしながら閲覧

パソコンでの閲覧方法（一例）

1、Google 等で「第7師団ホームページ」と入力し検索する

2、赤枠部分をクリック

3、この画面で赤枠部分の編成をクリック

4、編成画面で下にスクロールする

5へ続く

5、スクロール後「第7偵察隊」をクリックする

6、7偵ホームページ内で機関紙「ななてい」をクリックする

7、機関紙が各号ごとに掲載されているので読みたい号をクリック

8、スクロールしながら閲覧

スマートフォンでの閲覧方法（一例）

パソコンでの閲覧方法（一例）

編集後記

広報陸曹 幌 恭輔

いつもお世話になっております。私は日々業務で各種訓練や競技会等の取材として部隊の活動写真を撮影に行きます。その取材を通して、隊員がそれぞれの立場においてひたむきに訓練に臨み、頑張っている姿を見ているのが、その努力が実を結び結果が出た時は本当に嬉しく思います。

これからも第七偵察隊の訓練状況や隊員の活躍をお伝えしていきますので、インターネットでの閲覧をよろしくお願致します。

また、各種訓練等を「ななてい」Twitter「X」「ななてい」Instagramにてアップしていますので、閲覧・登録をよろしくお願致します。今後とも変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

北海道千歳市祝梅1016
第7偵察隊
012312315131
(内線2681)

